

浜嶋です。

おはようございます。

昨日は、各隊がうまく発表してくれて全体でほぼ時間通りに進みました。

2団の良さを実感できたでしょうか。それとも「もっとしっかりしろ」と思われたでしょうか。

1. 厳粛なセレモニー

会場が栗ヶ丘会館になってしまい、雰囲気づくりではくらし館や熊野田会館に劣ることは、大変申し訳けなかったと思います。

私たちはセレモニーを大切にしないといけません。

厳粛な雰囲気、自然に感動させてくれるセレモニーは、スカウトの心だけでなく、指導者や保護者の心を豊かにしてくれます。

活発な野外活動の対極に静的なセレモニーがあります。

指導者は、スカウトの人生で1回だけの入隊式、上進式を最高の贈り物にする工夫が必要です。

「ちかいのはし」は、入隊や上進に際して困難を乗り越えて進む試練を象徴しています。

歩いて渡りますから、

静かにゆっくりかみしめながら渡るというやり方がいいと思います。上進者が、すたすたと歩いて、隊長同士で挨拶している間、何をしたらいいか戸惑っていた姿は、ちぐはぐな感じがしました。

本人に説明が必要でした。やはり、始める前に司会から「ちかいのはし」の意味の説明をしてほしかったです。本人や見ているスカウト、保護者に厳粛な気持ちにさせるところから始めると会場の雰囲気が高まると思います。

細かいところで、ベンチャー隊の上進式で、ボーイ隊のネッカチをつけていたことに気付いて慌てて外す場面がありました。

ここは、ビーバー隊では、古いネッカチを隊長がスルッと外し、新しいネッカチに付け替えるやり方をしています。

どうしてこのような方法に変えたのか。大阪連盟の谷井連盟長から大坪連盟長に代わられたときにそのやり方をしました。

ネッカチをしない制服姿は、恰好がつかないですね。古いネッカチ、今までのネッカチを付けた状態で、やくそくやちかいを行いその後に新しいネッカチに取り換える。

その方法は、チーフリングを外し、片方を引っ張るとスルッと抜けるのです。「スマートなやり方だな」と思いました。

よいことは取り入れようと始めたのです。観察力があれば、ビーバー隊のやり方に気付いたはずですが。

寺町副育成会長が、「準備」について話をされました。カブ隊は、なぜ「ちかいのはし」

を使わなかったのでしょうか。今回のセレモニーのシナリオを団委員会が確認することを怠ったことを反省しています。

もう大丈夫と過信し、隊長に任せきりにしたことを悔やんでいます。隊長も十分な準備の一環として団委員会の力を借りることを思いつかなかったことを反省してほしいと思います。

たまたま、私はベンチャー隊の副長になることで吉田新隊長からシナリオを前日にいただき、私の役務を知りました。そこで、スカウトが部屋の外で待つやり方を部屋の中で待つ方がいいのではないかと伝え、修正されています。

くらし館での失敗があったからです。

まだまだ各隊で、今回のセレモニーの反省事項があると思います。リーダー会議でぜひ話し合ってください。

次は、もっとすばらしいセレモニーをしましょう。

2. 報告会

時間は、BVS隊が8分、CS隊が25分、飯田さんの紹介が10分、BS隊が30分、VS隊が25分でした。ほぼ予定どおりでした。

隊長主体の発表とスカウト主体の発表に分かれたと思います。

25分は、かなり長い時間なので退屈しない配慮を前回からお願いしています。各隊は毎年同じパターンで行っていますが、さらに改善をお願いしたいです。ビバースカウトが引き込まれるような発表をお願いしたいと思います。

また、スカウトの発表は、大きな声でやれることが1年間の成長の証になると思います。ここも工夫が必要です。

大声コンテストをもっとやってほしいです。

ボーイ隊の定番化しつつある「声が小さい」は、まさにそのとおりで笑いを取れません。事前の準備と工夫がほしいです。

ビバースカウトは、見る時間が長く、途中で集中力が切れてしまいました。リーダーの対応はよかったのでしょうか。

私は、「煩くするのなら外に出てください」と言いに行きました。言うことを聞いてくれたことには成長したなと思いました。

ベンチャー隊の手話を交えた「輝け、アグーナリー」は、スカウトも指導者も含めて活動の成果が現れていて、よかったですね。

このように活動の成果がわかる発表は、わかりやすく、楽しく注目を集めます。間違いなくすばらしい。

活動の説明でなく、成果が見える発表にしたいものです。大きな声で歌を歌えることを示すやり方もあると思います。

報告会を、報告・成果発表会と考えましょう。

発表時間、発表方法、発表内容を見直しして、もっと意義のある、達成感を感じる会にしたいですね。

団としては、栗ヶ丘会館のテレビが小さいことも課題と反省しています。

保護者の方たちは、どのように感じられましたでしょうか。

ご意見をお寄せください。

3. 飯田さんお別れ挨拶

飯田さん、いつまでも2団の一員ですよ。団メールの登録は削除しません。よかったらいつまでも接点をつないでください。

悠斗君、自然が好きなんだよね。いっぱい自然の中で遊んでね。友達もできるだろうね。キャンプをしたくなったらボーイスカウトになってくださいね。

4. ますますの発展を

- ・英語を少しずつ使いましょう。
- ・ちかいとおきての実践につとめましょう。
- ・「そなえよつねに」を身につけましょう。
- ・品質を高めましょう。
- ・下村応援団長、4連覇に向けて頑張ろう。
- ・全員で楽しみましょう。

5. 次は親子ハイクでお会いしましょう。

See you again.